

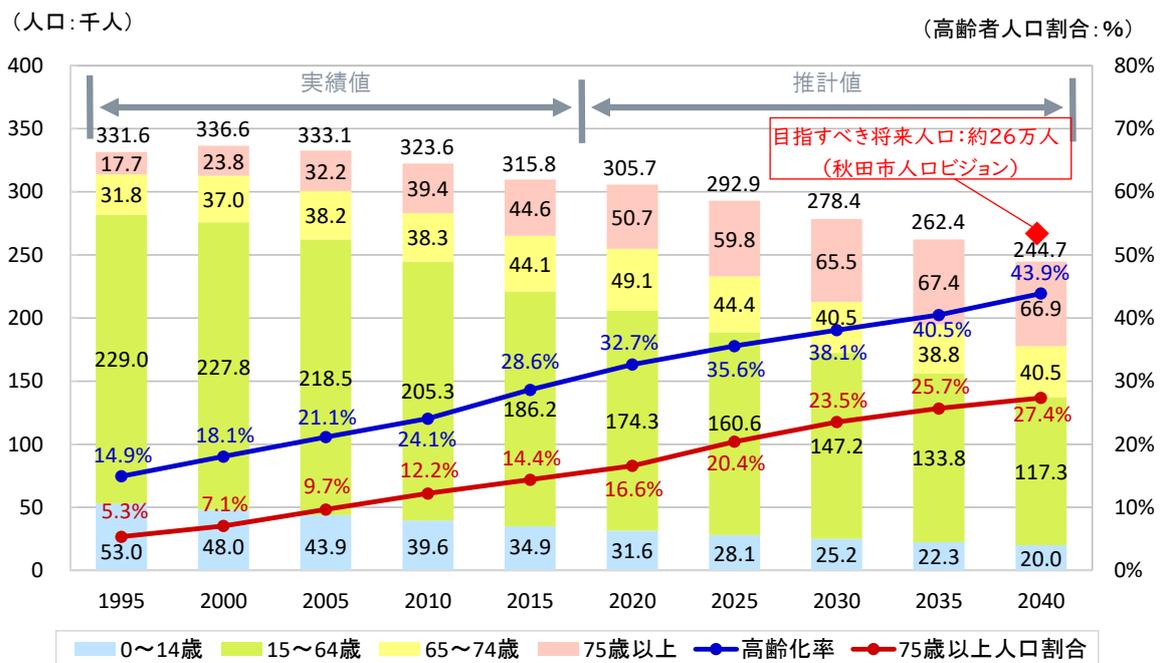
## 第2章 秋田市の現況・課題

### 1. 秋田市の現況

#### 1-1. 人口および世帯（市全体・高齢者）

- ・本市の人口は、平成15年（2003年）をピークに減少に転じ、今後もその傾向は継続する見込みであり、令和22年（2040年）には令和2年（2020年）人口の約8割まで減少することが想定されています。
- ・高齢化率は、今後も増加する見込みであり、令和22年（2040年）には、人口の約4割が高齢者となっていることが想定されています。
- ・秋田市人口ビジョン※においては、目指すべき将来人口を令和22年（2040年）時点で約26万人としています。

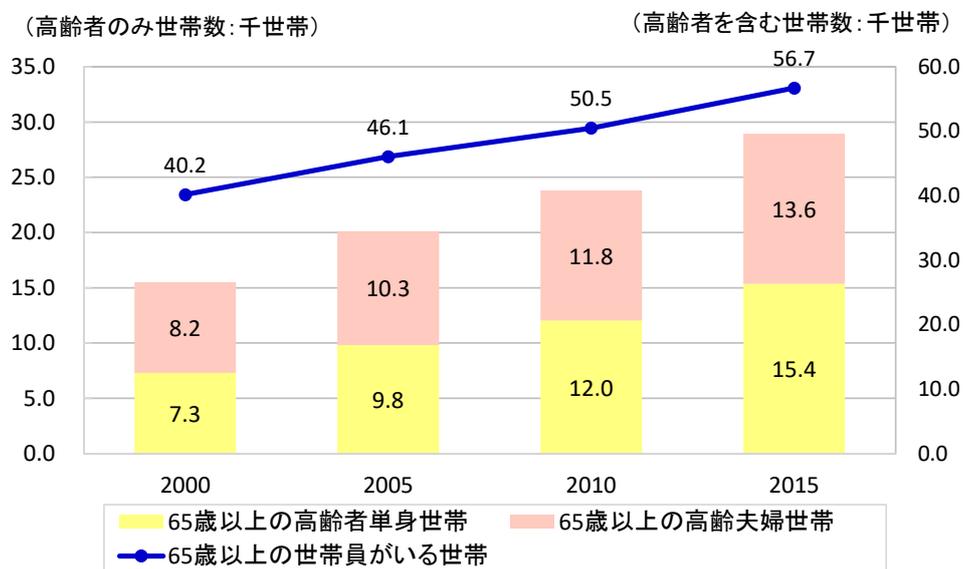
#### ○ 年齢別人口の構成比の推移と将来予測



資料：各年国勢調査（1995～2015年）、国立社会保障人口問題研究所（2020年～）  
 2005年1月以前のデータは、旧河辺町、旧雄和町を含む  
 2015年までの総人口は、年齢不詳人口を含む  
 小数の関係上、各項目の合計値は全数（もしくは100%）とならない場合がある。

・高齢者のみの世帯（高齢者単身世帯、高齢者夫婦世帯）は増加の傾向がみられます。

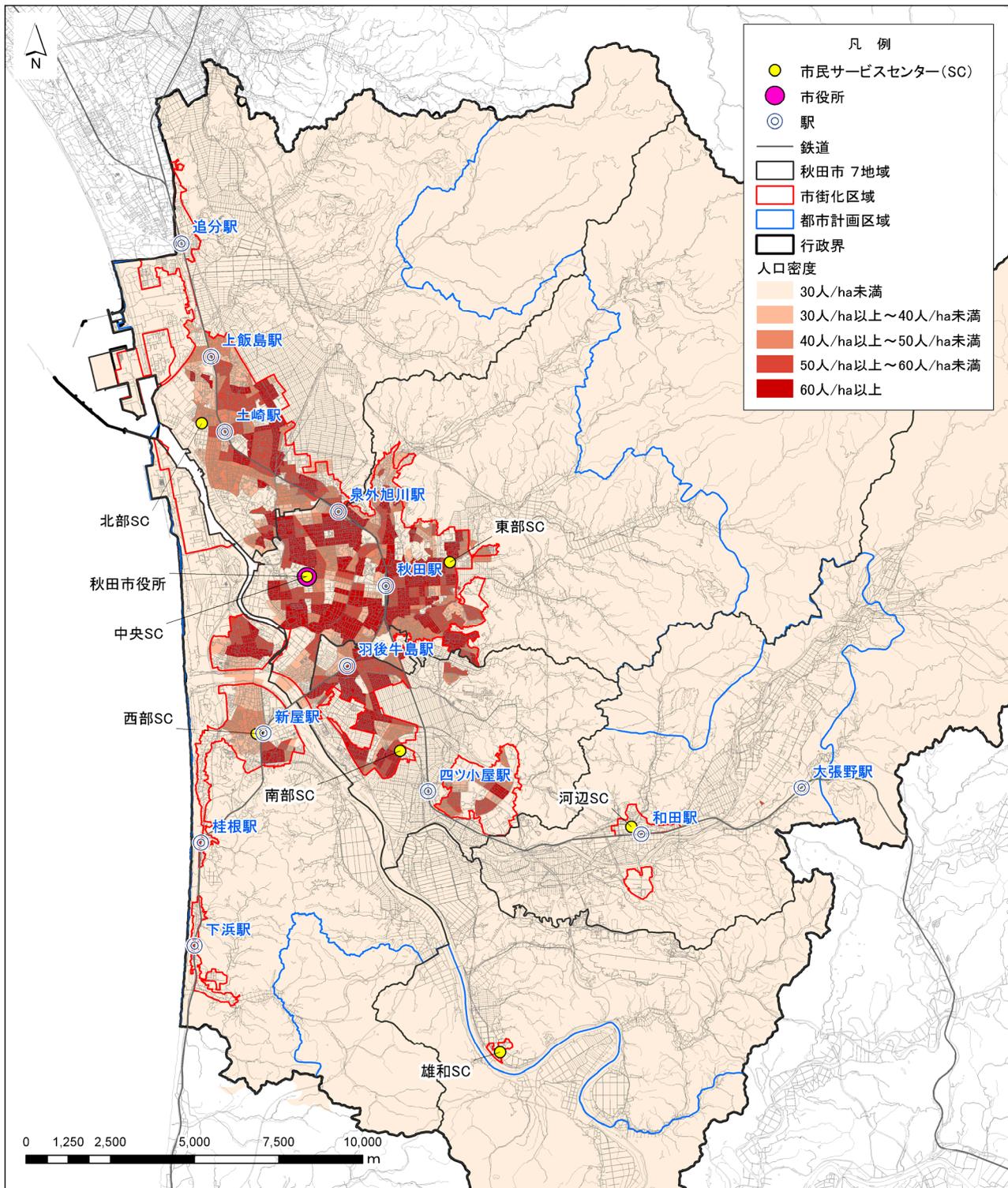
### ○ 高齢者世帯数の推移



資料：国勢調査（2000～2015年）

・人口密度は、中心市街地周辺のほか、各鉄道駅の周辺で高くなっています。

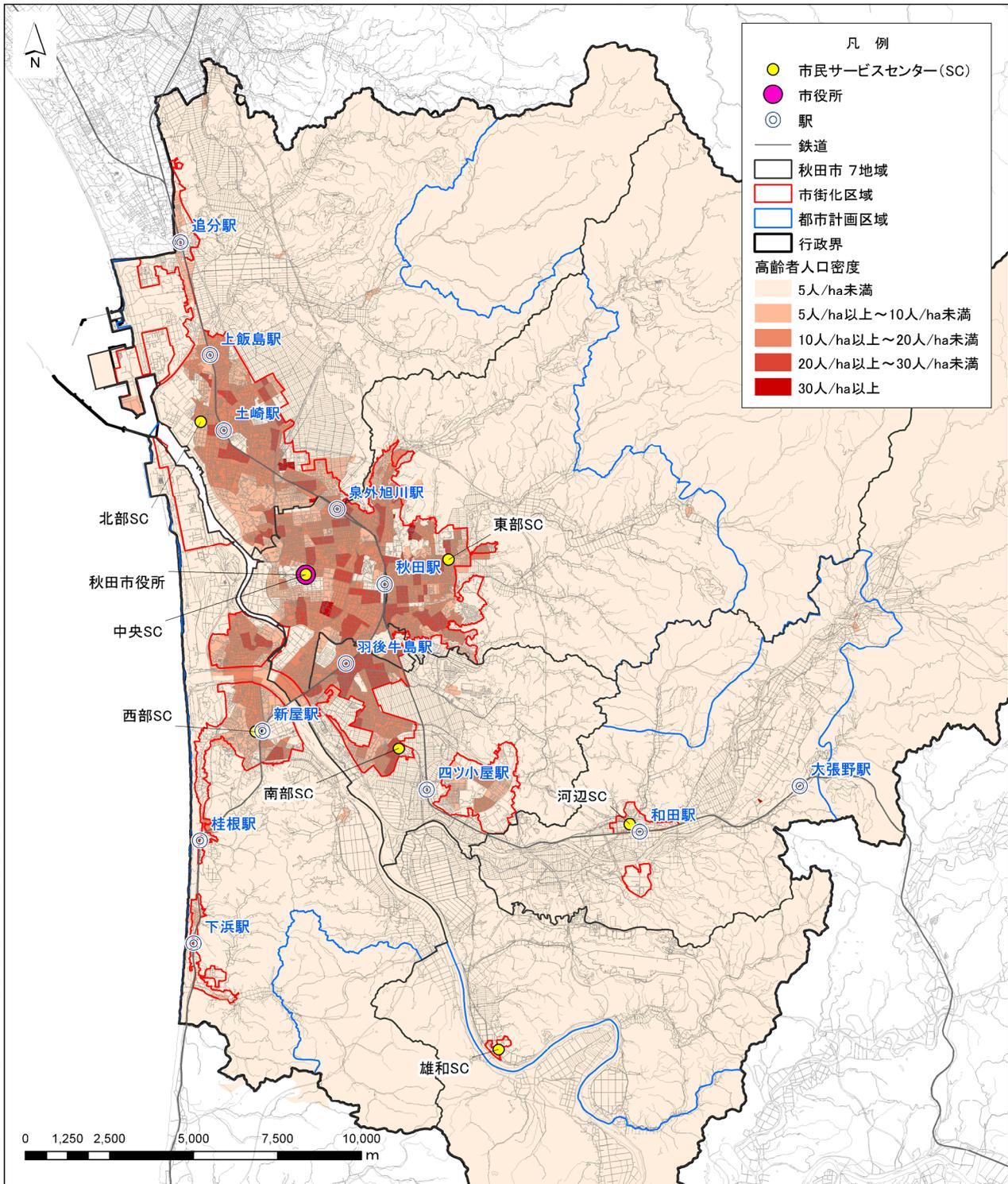
地域別人口密度の分布状況



資料：平成 27 年国勢調査（小地域データ）

・高齢者人口密度は、基本的に人口密度に比例し、中心市街地周辺や、各鉄道駅の周辺で高くなっています。

● 地域別高齢者人口密度の分布状況



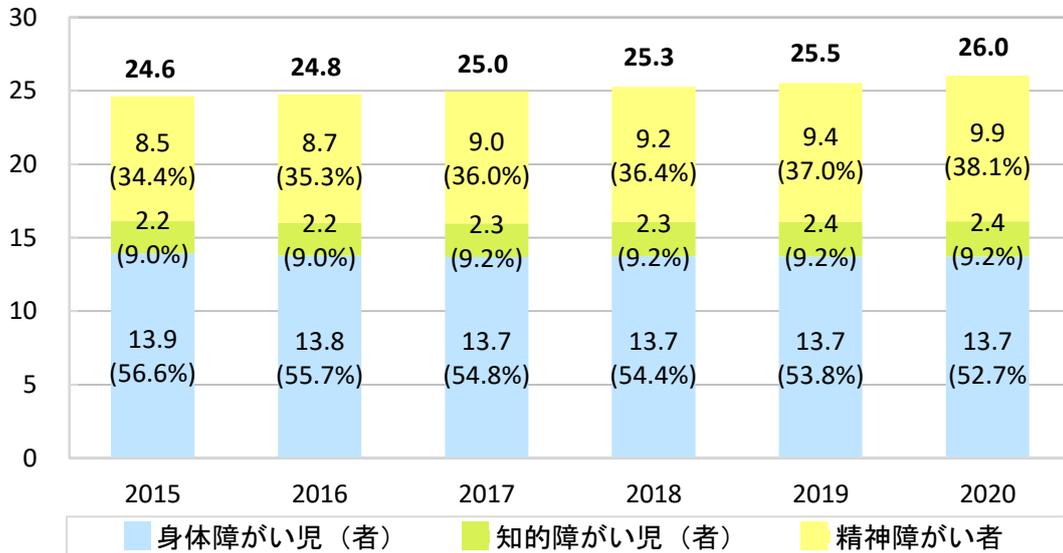
資料：平成27年国勢調査（小地域データ）

## 1-2. 障がい者

・本市の障がい者数は、近年増加傾向にあり、身体障がい児（者）、知的障がい児（者）は、おおむね横ばいの傾向にあるものの、精神障がい者は増加しています。

### ○ 障がい者数の推移状況

(障がい者数：千人)



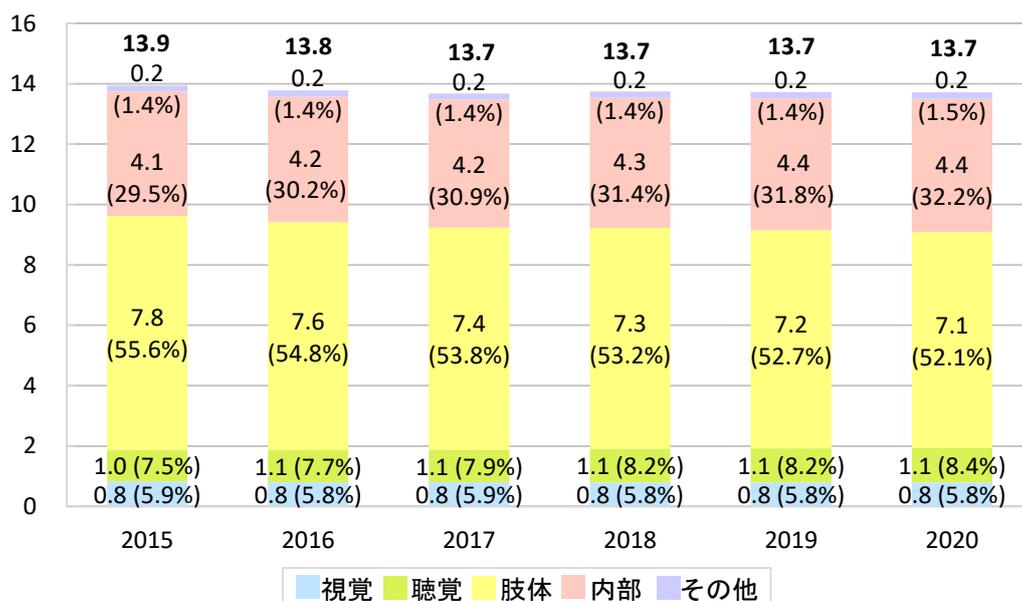
資料：令和3年度版福祉の概要

小数の関係上、各項目の合計値は全数（もしくは100%）とならない場合がある

・身体障がい児（者）の内訳は、「肢体不自由」が最も多く、全体の約半数を占めています。

### ○ 身体障がい児（者）者数の推移

(身体障がい児（者）数：千人)

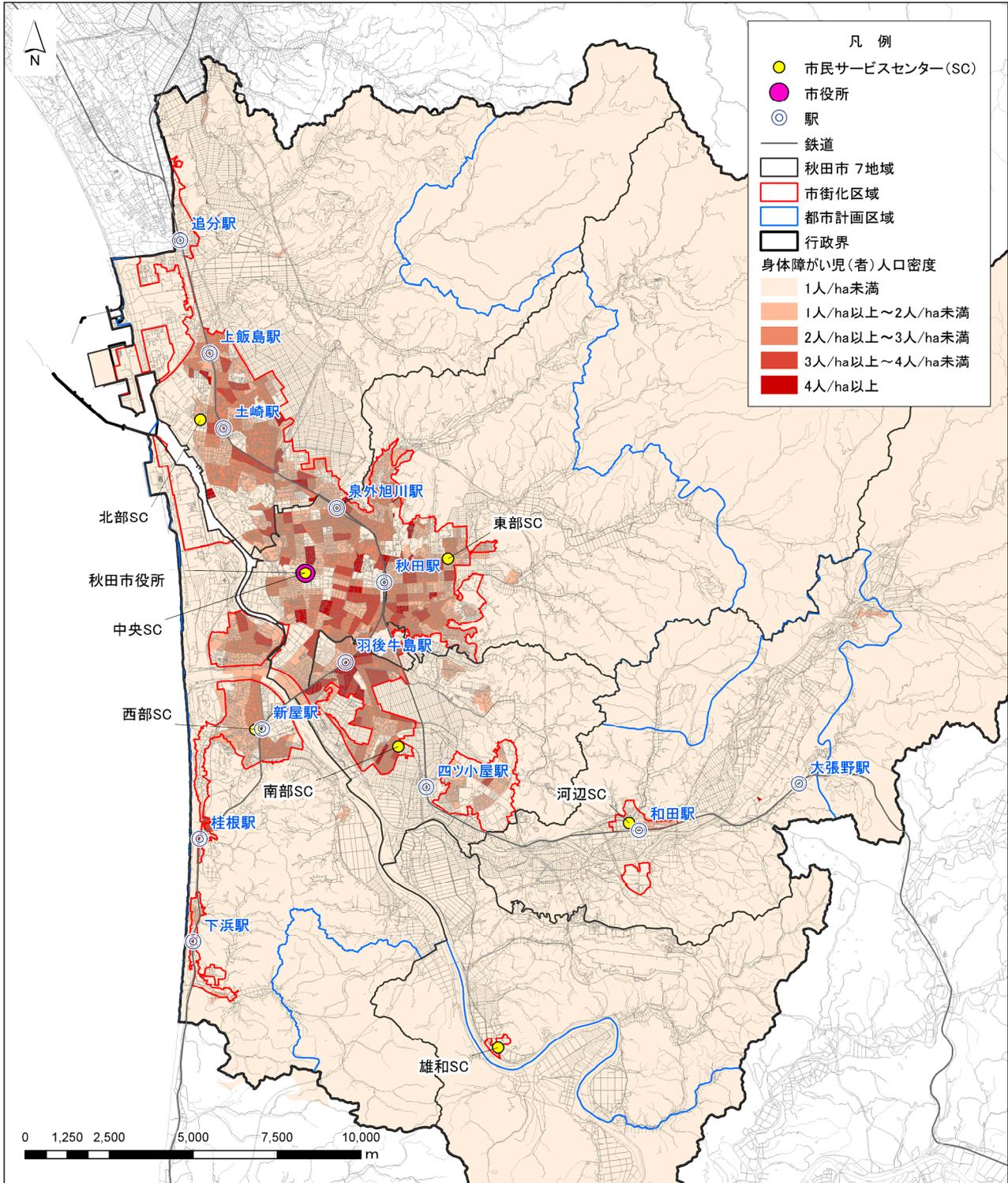


資料：令和3年度版福祉の概要

小数の関係上、各項目の合計値は全数（もしくは100%）とならない場合がある  
 その他は「平衡機能」「音声言語、そしゃく」の計とする

・身体障がい児(者)人口密度は、中心市街地周辺のほか、各鉄道駅の周辺で高くなっています。

● 地域別身体障がい児(者)人口密度の分布状況

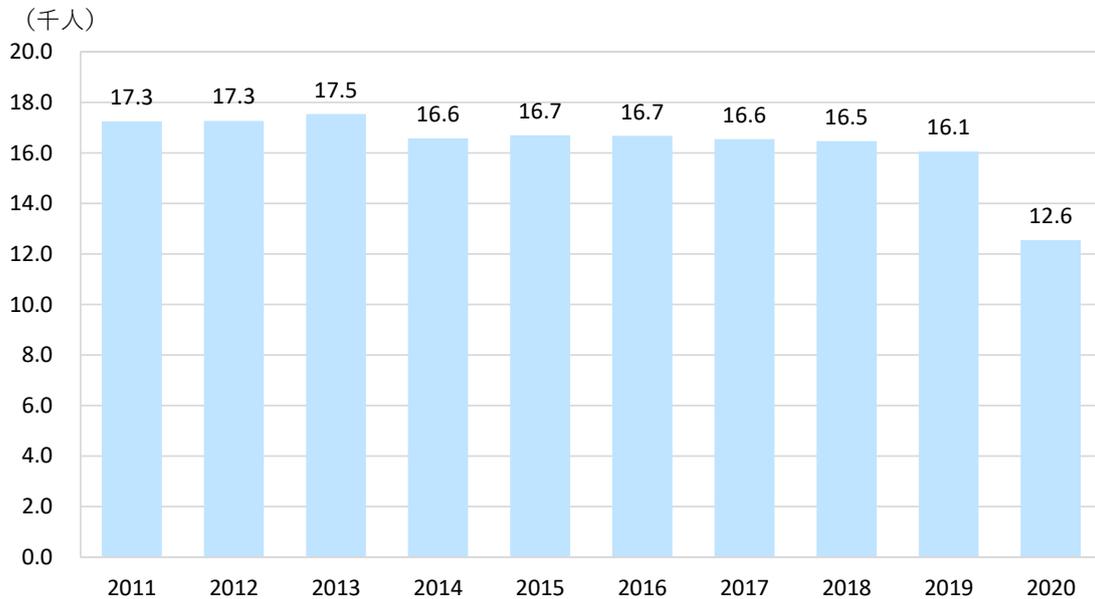


資料：秋田市資料

### 1-3. 公共交通の動向

- ・鉄道駅の1日の平均乗車人員は、近年、微減傾向にあります。
- ・令和2年(2020年)の乗車人員の大幅な減少は、新型コロナウイルス感染症による影響が推測されます。

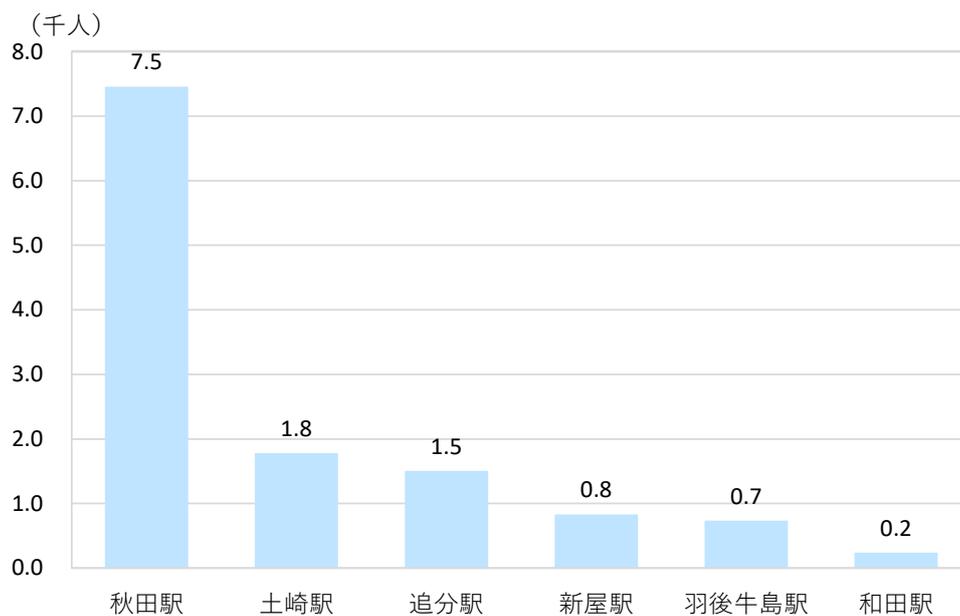
#### ○ 鉄道駅の1日の平均乗車人員



資料：東日本旅客鉄道株式会社  
秋田駅、土崎駅、追分駅、新屋駅、羽後牛島駅、和田駅の  
1日の平均乗車人員を合計して算出

- ・鉄道駅別の1日平均乗車人員は、各路線が集中する秋田駅が最も多く、次いで土崎駅、追分駅、新屋駅の順になっています。

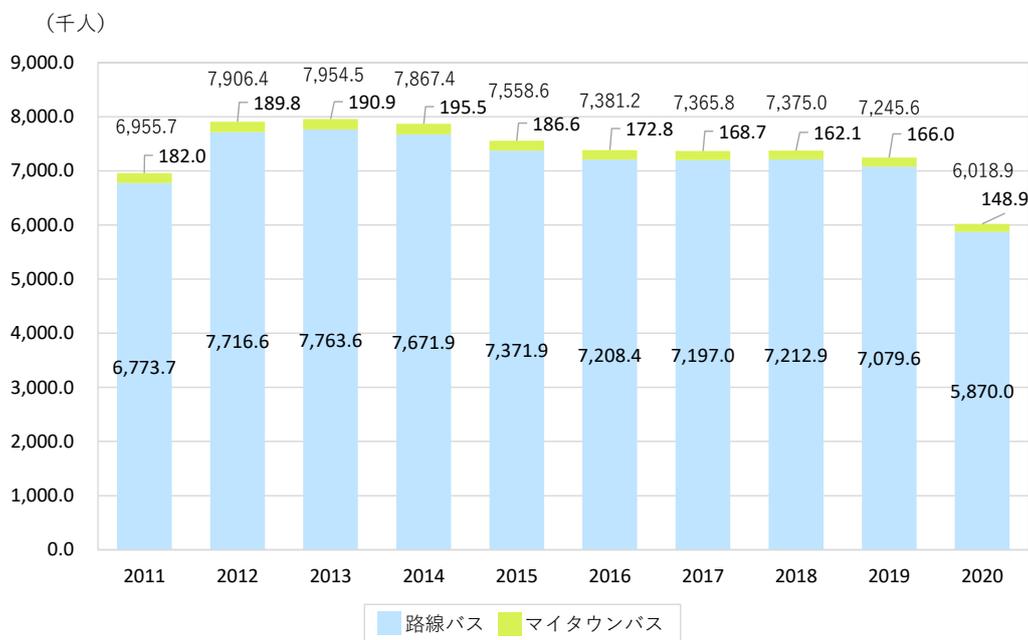
#### ○ 鉄道駅別の1日平均乗車人員(令和2年度)



資料：東日本旅客鉄道株式会社

- ・バスの輸送人員については、平成23年(2011年)より開始した高齢者コインバス事業等により、1年あたり約750万人程度の水準を維持していたものの、近年は微減傾向にあります。
- ・令和2年(2020年)の輸送人員の大幅な減少は、新型コロナウイルス感染症の影響が推測されます。

### ○ バスの輸送人員



資料：秋田市

- ・各鉄道駅のバリアフリー化の状況については、令和3年10月時点で以下の表のとおりとなっています。なお、追分駅については、令和5年にエレベーターを設置予定です。
- ・移動等円滑化基準に適合した低床バス(ノンステップバスおよびワンステップバス)は、令和3年3月末時点で全車両数のおよそ7割を占めています。
- ・UD(ユニバーサルデザイン※)タクシーは、令和3年3月末時点において、秋田市内の6事業者で26台保有しています。

### ○ 各鉄道駅のバリアフリー化の状況(令和3年10月時点)

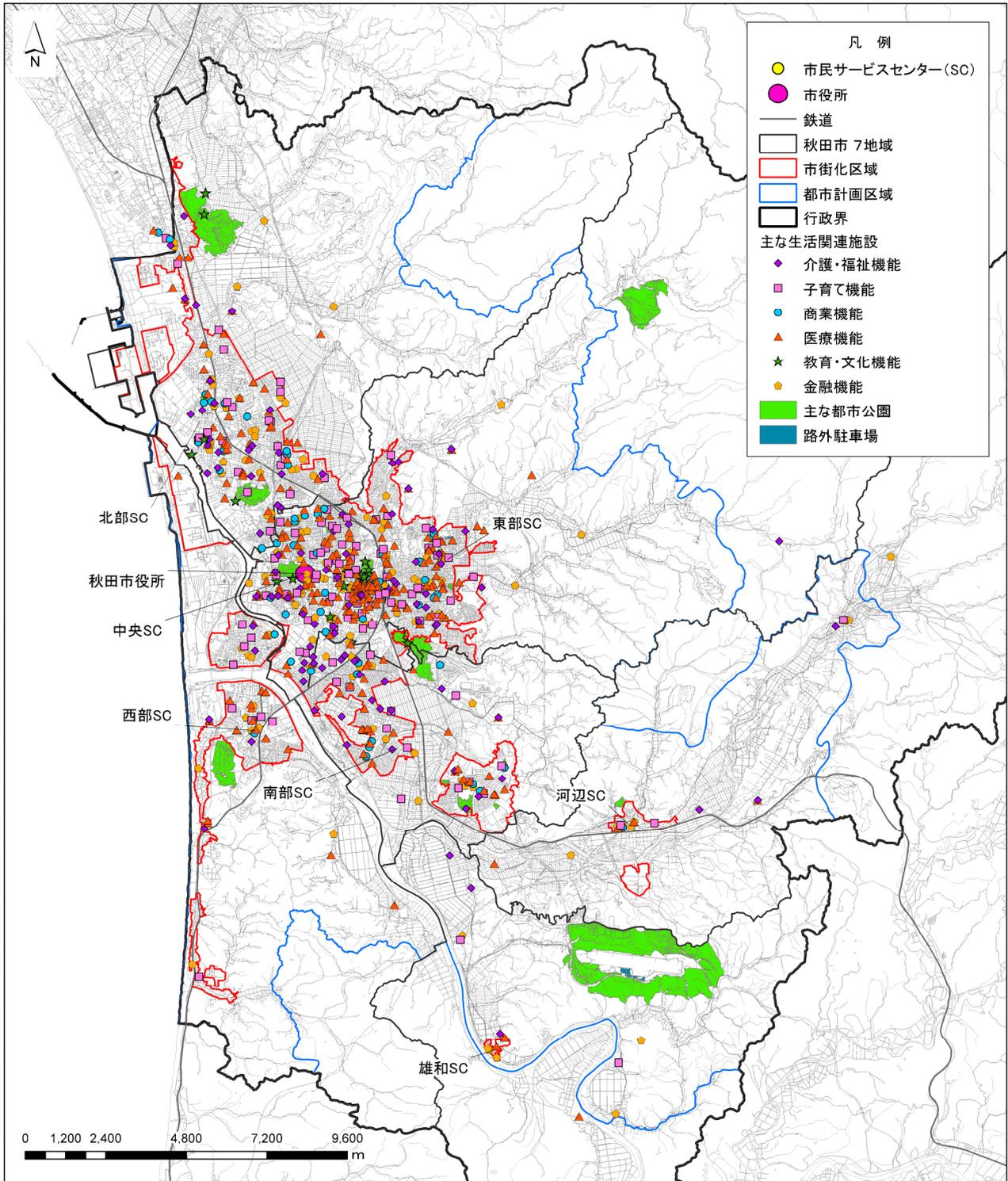
	エスカレーター	エレベーター	シニアカー利用	車いす対応トイレ	点字運賃表
秋田駅	○	○	○	○	○
追分駅	—	—	—	—	—
上飯島駅	—	—	—	—	—
土崎駅	—	○	○	○	○
泉外旭川駅	—	○	○	○	○
羽後牛島駅	—	—	—	—	—
新屋駅	—	—	—	—	—
桂根駅	—	—	—	—	—
下浜駅	—	—	—	—	—
四ツ小屋駅	—	—	—	—	—
和田駅	—	○	—	○	—

資料：東日本旅客鉄道株式会社

## 1-4. 主な生活関連施設の分布状況

・生活関連施設<sup>\*</sup>の候補施設（介護・福祉機能や子育て機能、商業機能等）は、鉄道駅や各市民サービスセンター周辺等に集積しており、特に秋田駅周辺の中心市街地に集中しています。

### ○ 主な生活関連施設の分布状況



資料：秋田市資料

## 2. 市民アンケート調査

### 2-1. 市民アンケート調査概要

市民を対象に実施した、バリアフリーに関するアンケート調査の概要を以下に示します。

#### ○ 市民アンケート調査の概要

項目	内容
目的	・秋田市バリアフリーマスタープランの策定にあたり、過去の調査結果との比較検証や、バリアフリーに対する市民意識の把握を目的に、アンケート調査を実施
期間	・令和3年7月12日(月)～7月26日(月)
調査対象	・無作為に抽出する15歳以上の市民(基準日:令和3年4月1日)・・・1,000人 ・市民100人会員・・・103人
調査方法	・郵送による調査(送付および回収)
主な設問項目	・調査対象者の基本的属性 ・外出する際の移動手段と利用施設について ・日常的に利用する施設等の困りごとについて ・バリアフリー等の理解度について ・高齢者や障がい者等が困っている場面での行動等について ・秋田市におけるバリアフリー状況の満足度について ・自由意見
回収結果	・470人(回収率42.6%)

### 2-2. 回答者の基本的属性

回答者の基本的属性の概要を以下に示します。

#### ○ 回答者の基本的属性の概要

項目	内容
性別	・回答者の性別は、男性が47.0%、女性が52.6%、無回答が0.4%となっている。
年齢区分	・回答者の年齢は、「70歳以上」が最も多く25.7%、次いで「60歳～69歳」が25.1%となっており、60歳以上が約50%を占めている。
居住地域	・回答者の居住地域は、「北部地域」が最も多く20.9%、次いで「中央地域」が17.9%となっている。
身体の状態	・回答者の身体の状態は、健常者を示す「いずれにも当てはまらない」が最も多く58.9%、次いで「ケガ・病気などがある」が22.3%となっている。 ・「障害者手帳を保有している」を選択した人(31名:6.6%)のうち、障がいの種類で最も割合が高いのは「肢体不自由」で48.4%となっている。

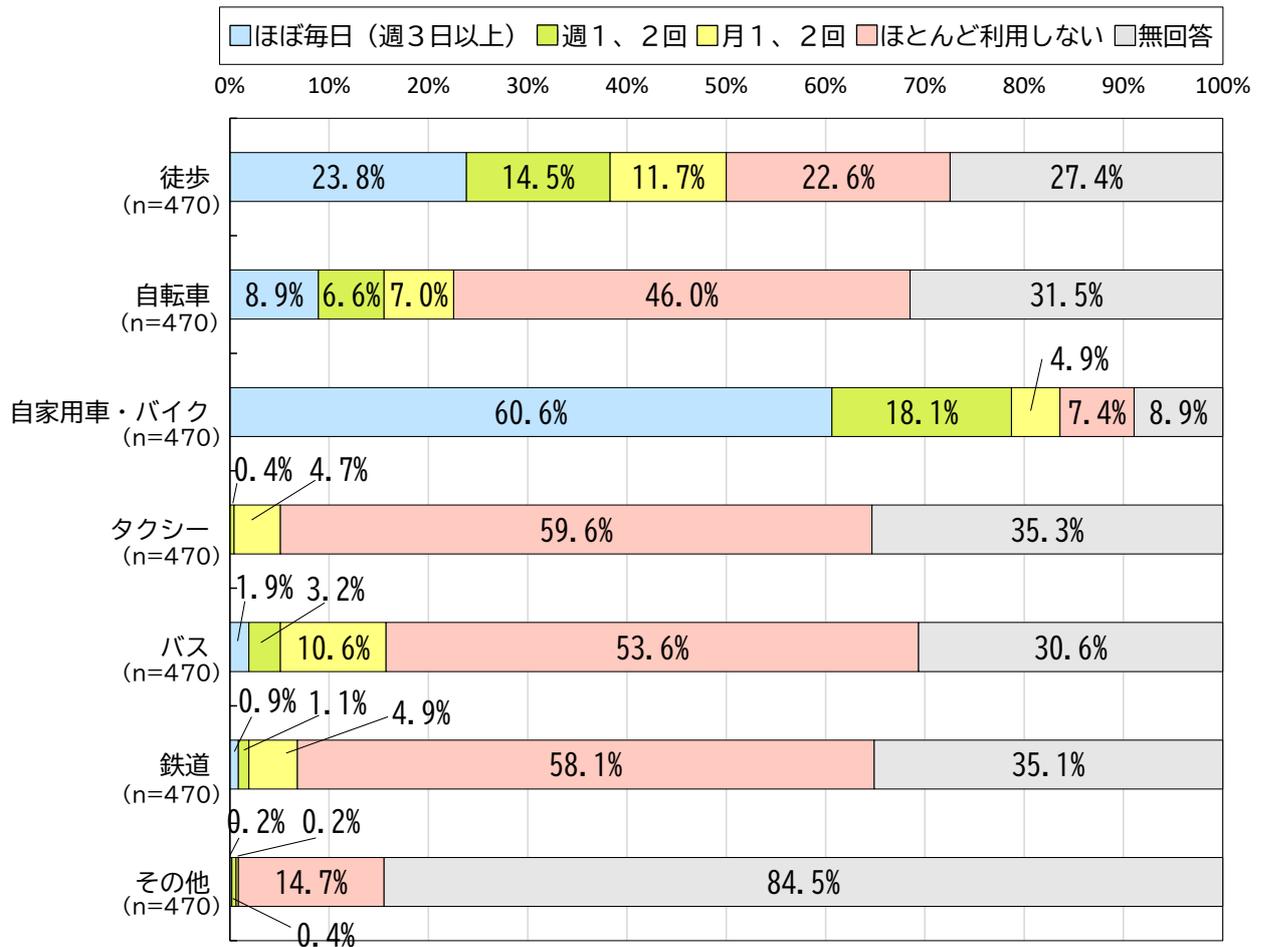
## 2-3. 市民アンケート調査結果の概要

アンケート調査結果の概要を以下に示します。【s=回答者数、n=回答数】

### (1) 外出する際の移動手段と利用施設について

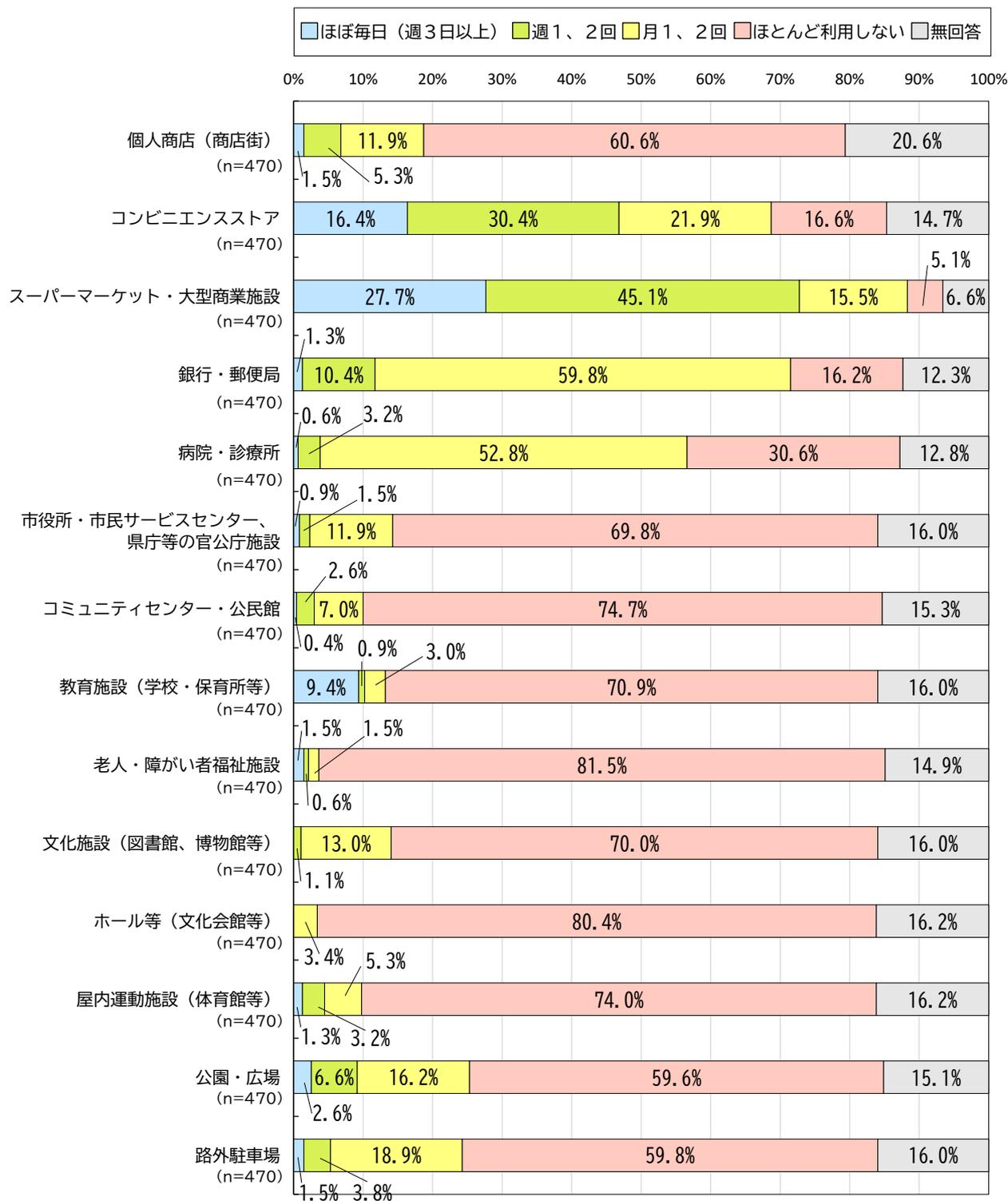
・外出する際の移動手段でほぼ毎日利用する人の割合が高いのは「自家用車・バイク」であり、6割以上の人々がほぼ毎日利用しています。

#### ○ 各移動手段の利用頻度について



・普段利用する施設で、月1、2回以上利用する人の割合が高いのは「スーパーマーケット・大型商業施設」、「コンビニエンスストア」、「銀行・郵便局」、「病院・診療所」となっており、それぞれ5割を超えています。

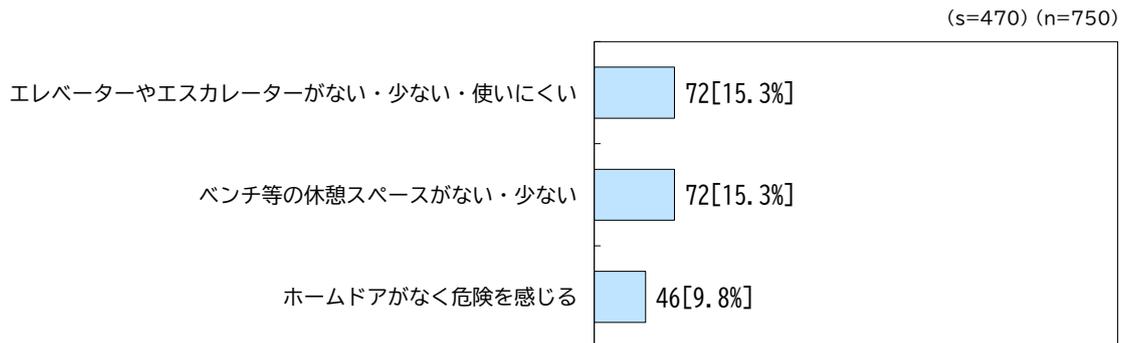
### ○ 主要な施設の利用頻度



## (2) 日常的に利用する施設等についての困りごと

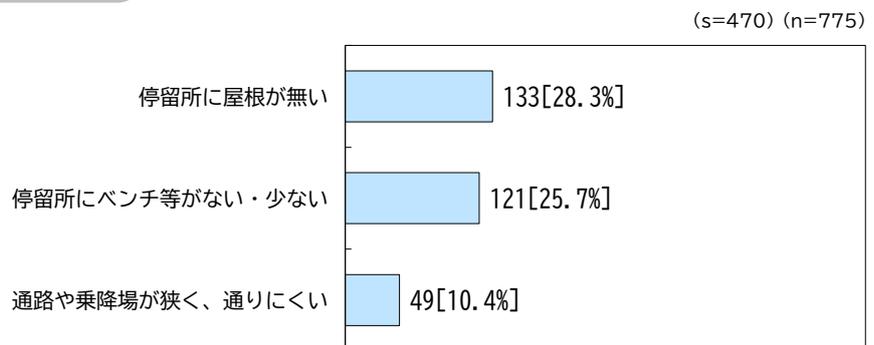
- ・鉄道駅についての困りごとは、「エレベーターやエスカレーターがない・少ない・使いにくい」と「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない」がともに15.3%と多くなっています。
- ・バス停についての困りごとは、「停留所に屋根がない」が最も多く、28.3%となっています。
- ・道路についての困りごとは、「道路や歩道が狭く、通りにくい」が最も多く、35.5%となっています。

### ○ 鉄道駅についての困りごと



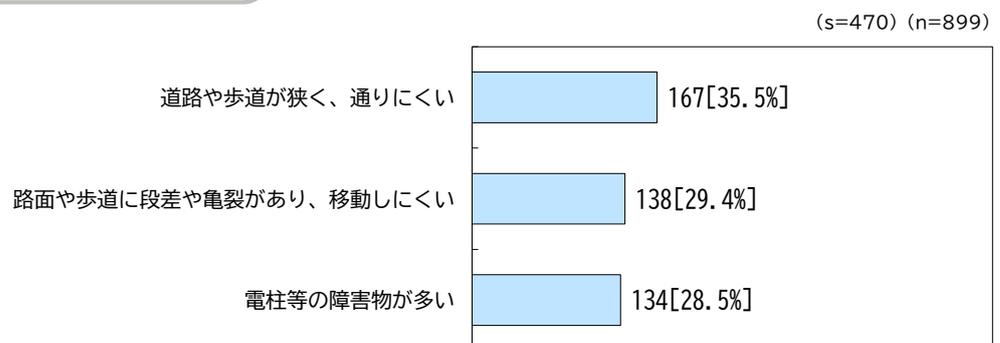
※上記グラフは回答者数に対する比率割合の高い上位3つの選択肢を抽出

### ○ バス停についての困りごと



※上記グラフは回答者数に対する比率割合の高い上位3つの選択肢を抽出

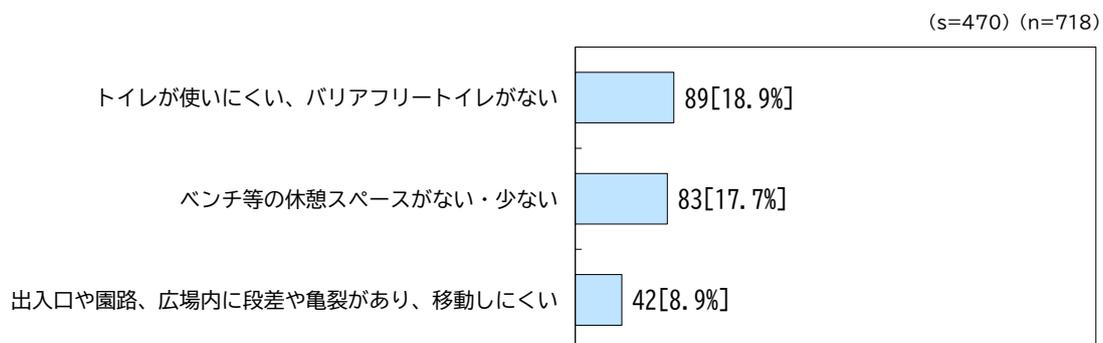
### ○ 道路についての困りごと



※上記グラフは回答者数に対する比率割合の高い上位3つの選択肢を抽出

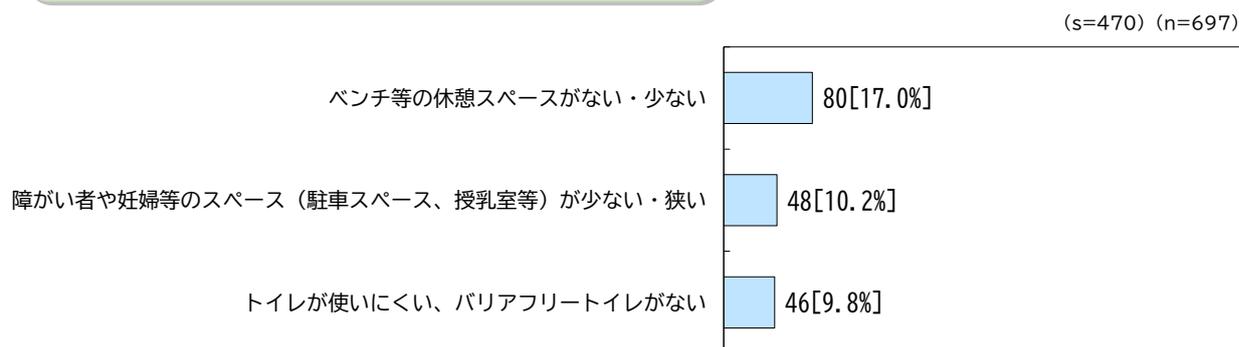
- ・公園についての困りごとは、「トイレが使いにくい、バリアフリートイレがない」が最も多く、18.9%となっています。
- ・商業施設や公共施設等についての困りごとは、「ベンチ等の休憩スペースがない・少ない」が最も多く、17.0%となっています。

### ○ 公園についての困りごと



※上記グラフは回答者数に対する比率  
割合の高い上位3つの選択肢を抽出

### ○ 商業施設や公共施設等についての困りごと

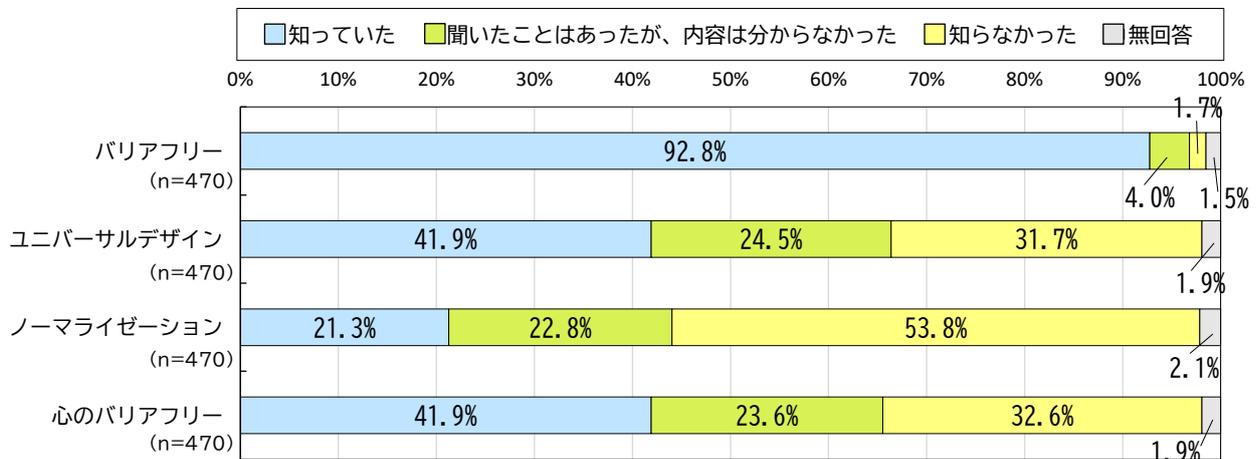


※上記グラフは回答者数に対する比率  
割合の高い上位3つの選択肢を抽出

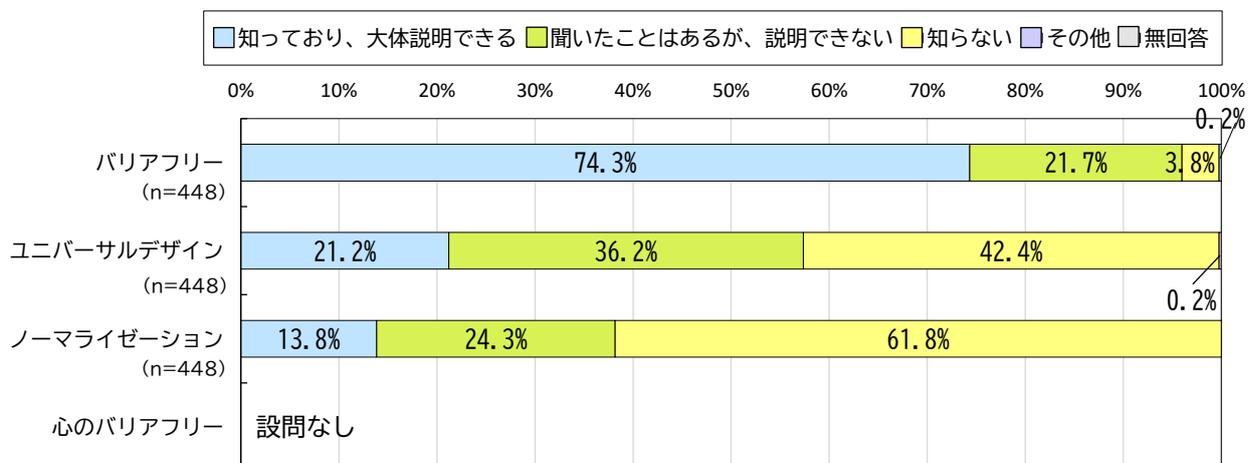
### (3) バリアフリー等の理解度について

- ・「バリアフリー」の言葉の意味について、「知っていた」と回答した人は92.8%で、過年度調査と比較すると18.5ポイント増加しました。
- ・「ユニバーサルデザイン※」の言葉の意味について、「知っていた」と回答した人は41.9%であり、過年度調査と比較すると20.7ポイント増加しました。
- ・「ノーマライゼーション※」の言葉の意味について、「知っていた」と回答した人は21.3%であり、過年度調査と比較すると7.5ポイント増加しました。
- ・「心のバリアフリー」の言葉の意味について、「知っていた」と回答した人は41.9%でした。過年度調査では、調査項目になかったため、比較は行っていません。

#### ○ バリアフリー等の言葉の理解度【R03】



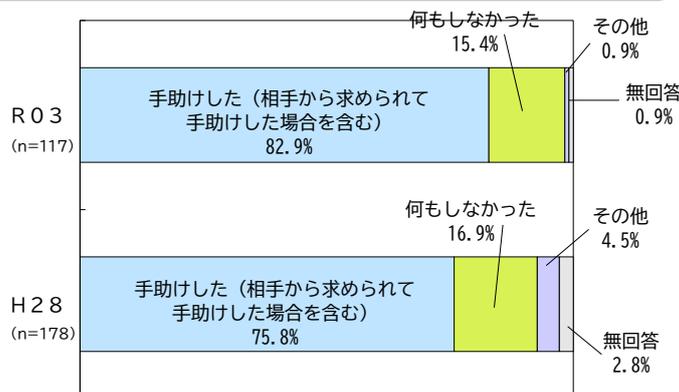
#### ○ バリアフリー等の言葉の理解度【H28】



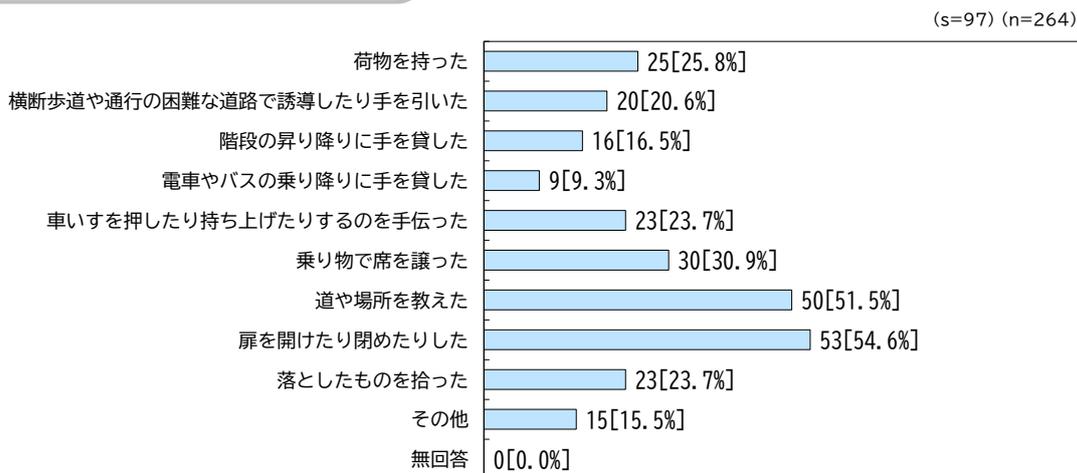
#### (4) 障がい者や高齢者等が困っている場面での行動等について

- ・障がい者や高齢者等が困っている場面を見かけたことがある人のうち、手助けしたことがある人は82.9%となっており、過年度調査と比較すると7.1ポイント増加しています。
- ・一方、困っている場面を見かけたが手助けをしなかった人は15.4%で、その理由は「手助けしていいものなのか分からなかった」や「どのように手助けしたらいいのか分からなかった」がそれぞれ55.6%、44.4%と多くなっています。

#### ○ 障がい者や高齢者等が困っている場面での行動等の変化

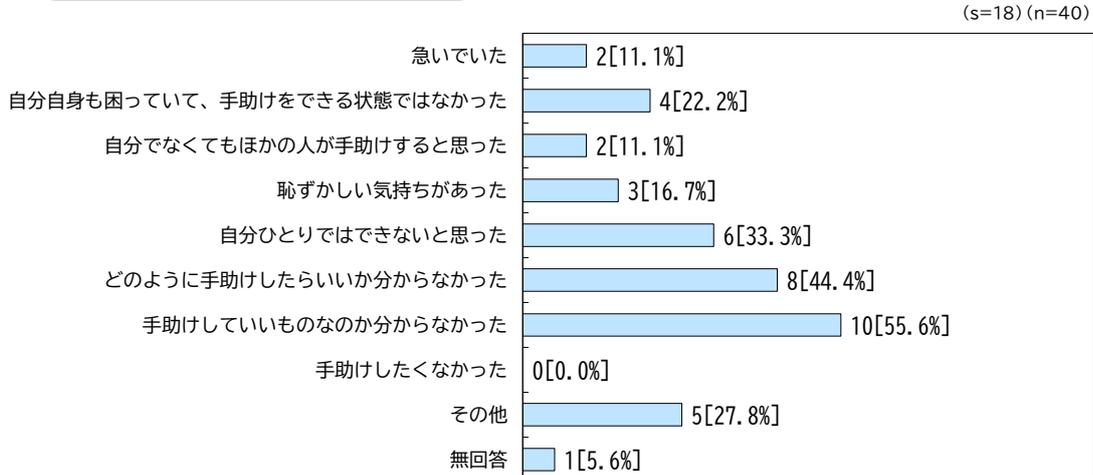


#### ○ 具体的な手助けの内容



※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

#### ○ 手助けをしなかった理由

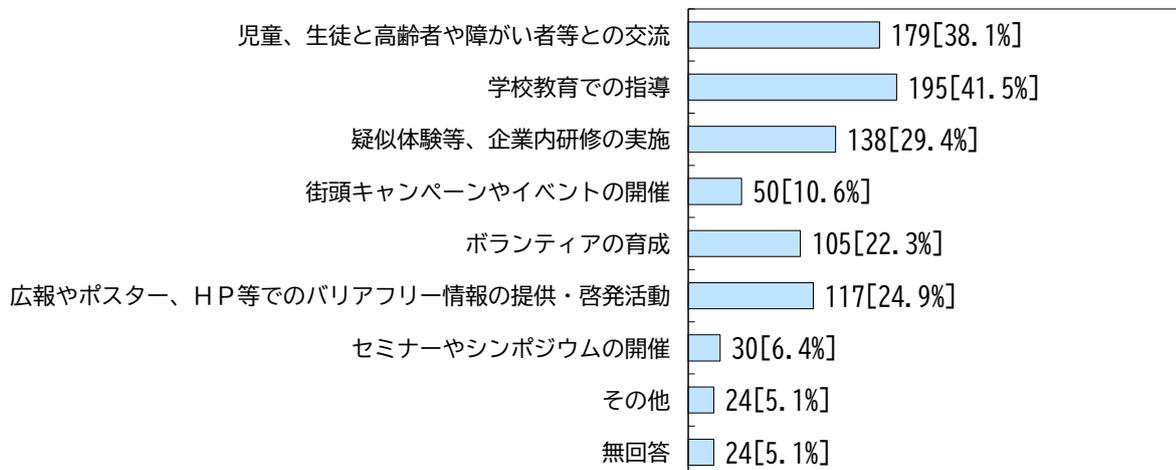


※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

・心のバリアフリーを促進させていくために必要なことは、「学校教育での指導」や「児童、生徒と高齢者や障がい者等との交流」がそれぞれ41.5%、38.1%と多くなっています。

### ○ 心のバリアフリーを促進するために必要なこと

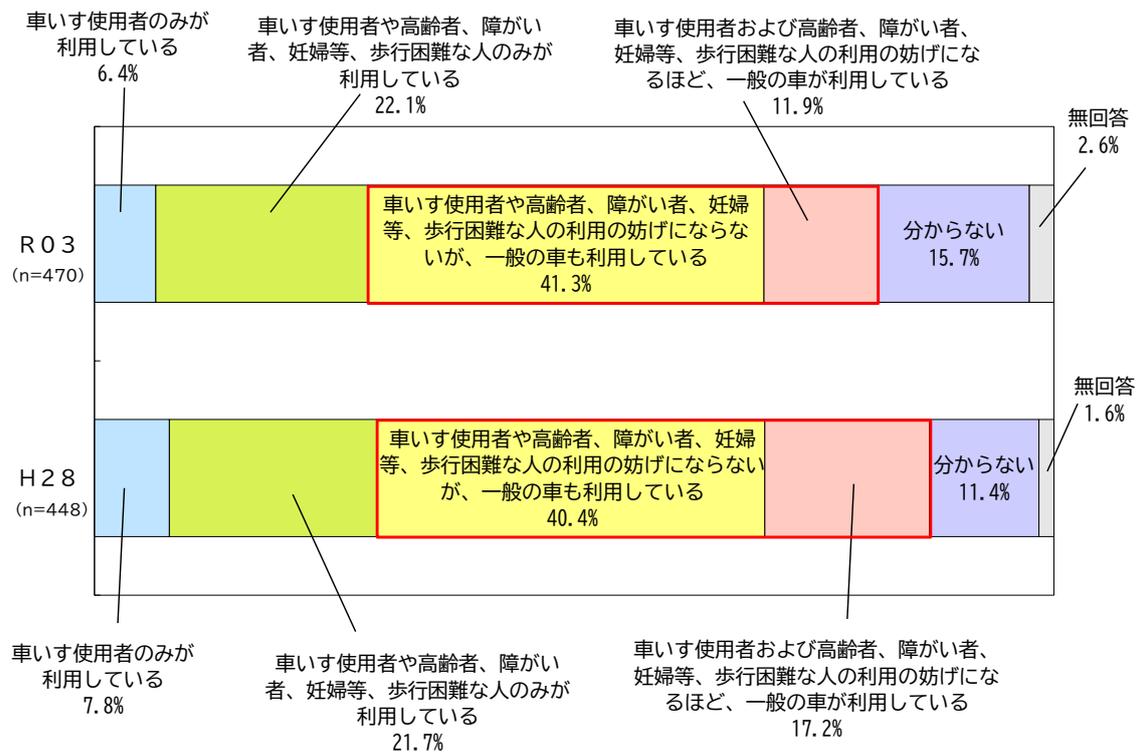
(s=470)(n=838)



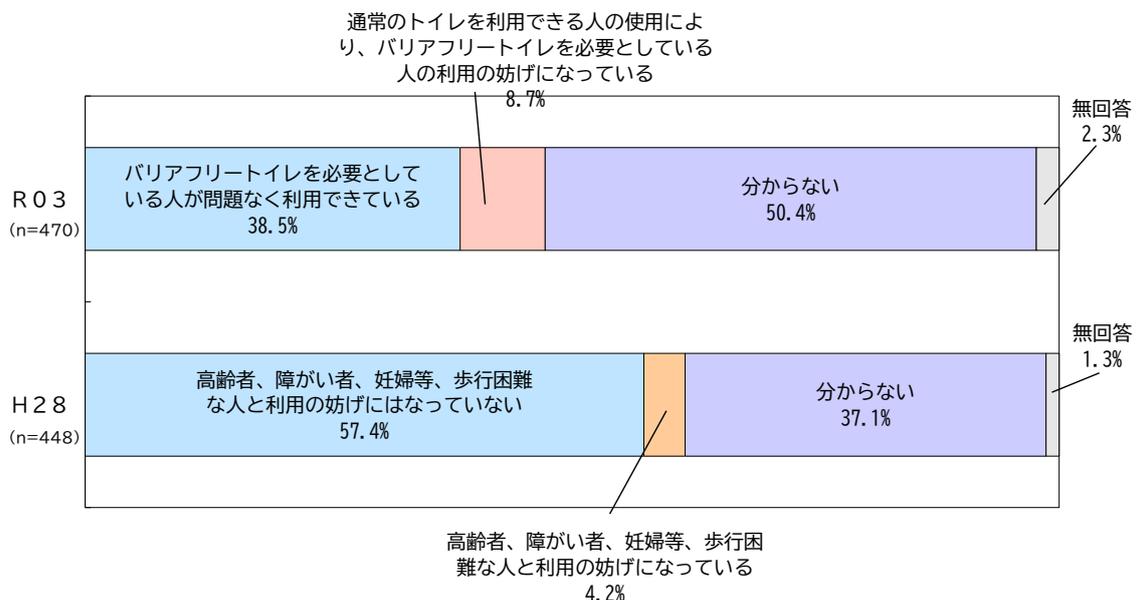
※上記グラフの集計は、回答者数に対する比率で、各選択肢の割合の合計は100%にならない。

- ・障害者等用駐車区画の利用状況については、過年度調査と比較して、「一般の車が利用している」と感じている人の割合が4.4ポイント減少しています。
- ・バリアフリートイレの利用状況については、「通常のトイレを利用できる人の使用により、バリアフリートイレを必要としている人の妨げになっている」と感じている人の割合が4.5ポイント増加しています。

### ○ 障害者等用駐車区画の利用状況の変化



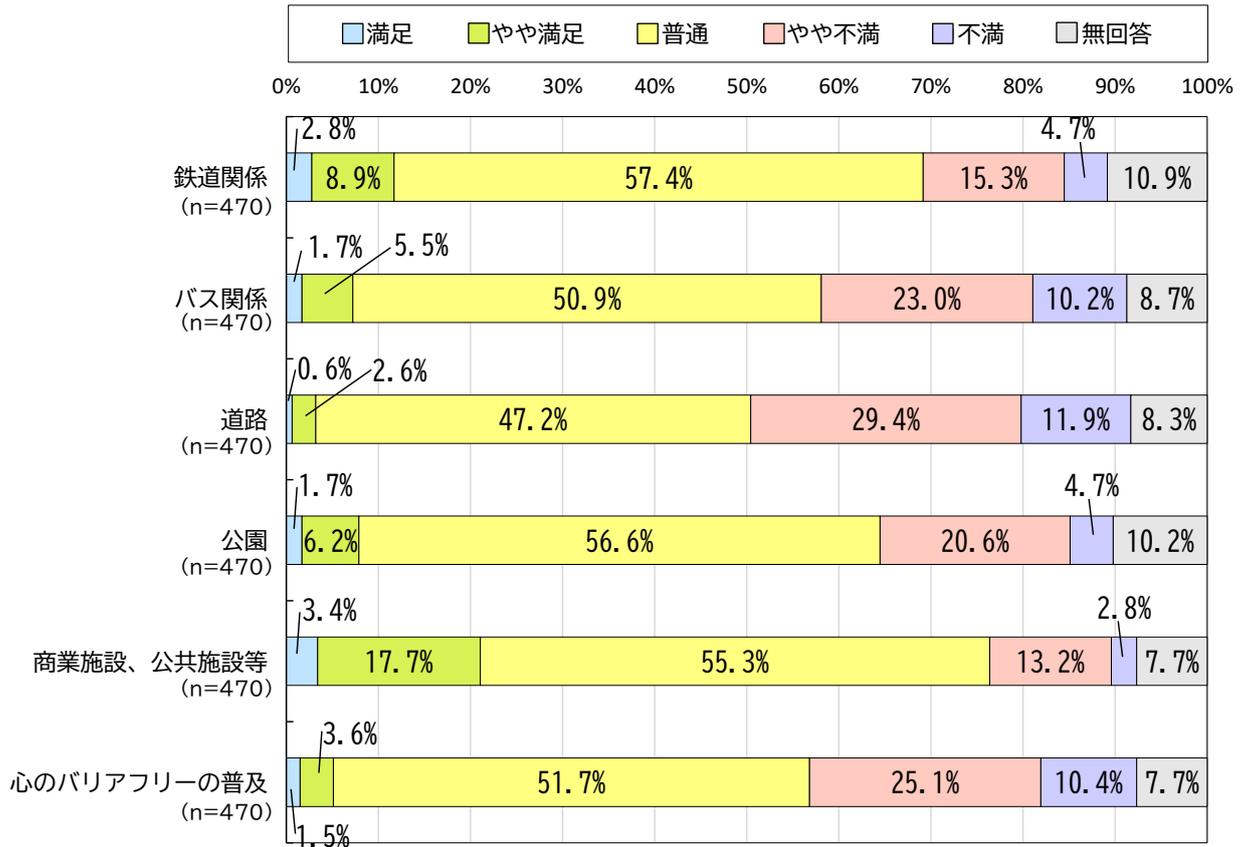
### ○ バリアフリートイレの利用状況の変化



### (5) 秋田市におけるバリアフリー状況の満足度について

- ・「満足」、「やや満足」の割合が最も高いのは、「商業施設、公共施設等(21.1%)」で、次いで「鉄道関係(11.7%)」となっています。
- ・「不満」、「やや不満」の割合が最も高いのは、「道路(41.3%)」で、次いで「心のバリアフリーの普及(35.5%)」となっています。

#### 秋田市におけるバリアフリー状況の満足度



### 3. 関係者団体ヒアリング調査

#### 3-1. ヒアリング調査概要

本市の高齢者団体および障がい者団体を対象に実施したヒアリング調査の概要を以下に示します。

##### ○ ヒアリング調査の概要と調査団体・実施時期・方法

項目	内容
目的	・実際に施設を利用する高齢者や障がい者から意見を伺い、「秋田市バリアフリー基本構想」(平成23年6月)(以下、旧基本構想)の取組結果を検証するとともに、本市における今後の移動等円滑化における方針等を検討する際の参考とします。
設問項目	・旧基本構想での取組について ・日常生活について ・自由意見

調査団体		実施時期	実施方法
高齢者団体	秋田市老人クラブ連合会	令和2年12月21日	直接聞き取り
障がい者団体	秋田市身体障害者協会	令和2年12月16日	直接聞き取り
	秋田市身体障害者協会車いす部会	令和2年12月16日	直接聞き取り
	秋田市視覚障がい者協会	令和2年12月16日	直接聞き取り
	秋田市ろうあ協会	令和2年12月26日	メール

#### 3-2. ヒアリング調査結果の概要

関係者団体ヒアリング調査結果のうち、今後の課題、要望として挙げられた内容を次ページに示します。

なお、各団体を以下のとおり表記し、意見を整理します。

高:秋田市老人クラブ連合会 身:秋田市身体障害者協会 車:秋田市身体障害者協会車いす部会  
視:秋田市視覚障がい者協会 聴:秋田市ろうあ協会

ヒアリング調査結果(今後の課題、要望のみ抽出)

項目	内容
ハード面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立病院を建て替え中であるが、建て替え後も問題なく病院を利用できるよう、近隣のバス停から新病院の入口までのバリアフリー化を図ってほしい。(視)</li> <li>・知的障がい者などに配慮し、止まる位置がわかりやすいように歩道と車道の交差する手前に「足形マーク」の設置を進めた方が良いと思う。(聴)</li> <li>・夜間照明について、適切な配置を検討してほしい。(聴)</li> <li>・エスコートゾーンと併せて音響式信号機が整備されているととてもありがたい。(視)</li> <li>・歩道について、まだ狭いと感じる場所があり、自転車とすれ違う時に危険を感じる。山王大通りくらいの広さがあると良い。(高、身、視、聴)</li> <li>・点字ブロックが急に曲がって整備されていることがある。もう少しならかなカーブにした方が視覚障がい者にはいいと思う。(身)</li> <li>・歩道のブロックががたついていたり、小石が多くあると車いすで走行する際の障がいとなる。(身、車)</li> <li>・駅の改札口や券売機、自動販売機などでバリアを感じる。(車)</li> </ul>
ソフト面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者は免許を返納すると公共交通機関での移動がメインになるため、高齢者コインバス事業は引き続き行ってほしい。(高)</li> <li>・駅での「声かけ・サポート運動」は引き続き取り組んでほしい。(視)</li> <li>・バリアフリーの普及啓発に係る取組を継続してほしい。(高)</li> <li>・公共交通機関におけるバリアフリーに関する研修については、引き続き実施すべきである。(身、車)</li> <li>・バリアフリーの普及啓発において、教育が重要になるため、引き続きバリアフリー教室は行ってほしい。(身、車)</li> <li>・だいぶ良くなってきてはいるが、障害者等用駐車区画の充実や適正利用に関する取組については今後も継続してほしい。(身、車)</li> <li>・駅等の施設で、緊急時の案内として放送アナウンスによる伝達では聴覚障がい者は分からない。(聴)</li> <li>・視覚障がい者にとって駅のホームは非常に怖いものであり、向かいのホームに来た電車を自分の方に来たと勘違いしてホームに落下するケースがある。落下防止のためにホームドアがあれば一番いいが、お金がかかって難しい部分もあると思うので、声かけなどでカバーしてほしい。(視)</li> <li>・バスの行先音声案内が行われない場面がある。ドアを開ける時に次の行先や目的地を案内してほしい。(視)</li> <li>・公共交通機関等において、障がい者が利用するとなると、事前に予約が必要なケースが多くある。急に外出しなければならない時など、事前予約が必要なことがバリアになるため、予約がなくても公共交通機関を利用できる環境整備を図ってほしい。(身、車)</li> </ul>
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者それぞれの特性に配慮したバリアフリーの充実を図るべきである。(聴)</li> <li>・高齢者や障がい者等に関係なく、全ての人がお互いに気遣いできるようになっていくことが重要である。(高)</li> <li>・高齢者や障がい者等の当事者ととも現地を確認し、官民間での問題共有を図りたい。(身、車)</li> <li>・高齢者や障がい者等の当事者の立場に立ってバリアフリーについて考えてほしい。(身)</li> </ul>

### 3-3. 今後の取組について

関係者団体ヒアリング調査の結果等を踏まえ、令和3年3月にまとめた「秋田市バリアフリー基本構想評価報告書」では、今後のバリアフリーに関する取組に関して、以下のとおり整理しています。

- ・基本構想に位置づけた特定事業が全て終了し、各団体から一定程度の評価を得ている一方で、全ての生活関連経路<sup>※</sup>および準生活関連経路に特定事業を位置づけているものではないことから、利用者の多い交通結節点等を有する重点整備地区<sup>※</sup>については、引き続き、バリアフリー化を図っていく必要がある。また、現重点整備地区に限らず、全市的なバリアフリー化の方針を示し、関係機関等と広く考えを共有することで、更なるバリアフリー化の促進につなげていく必要がある。
- ・ヒアリング調査において、「市立病院の建て替え後も、問題なく病院を利用できるよう、近隣のバス停から新病院の入口までのバリアフリー化を図ってほしい」等の新たな事業について提案があり、周辺環境の変化や時代のニーズに合わせた取組が求められている。
- ・ソフト面での取組に関しては、ヒアリング調査において、バリアフリーの普及啓発に係る取組を引き続き実施していくことを求める声が多く上がっており、「心のバリアフリー」に関する取組を継続して実施し、更なる市民意識の向上を図っていく必要がある。
- ・「高齢者や障がい者等の当事者とともに現地を確認し、官民間での問題共有を図りたい」という意見や、「高齢者や障がい者等の当事者の立場に立ってバリアフリーについて考えてほしい」という意見があるとおおり、当事者と連携を図りながらバリアフリー化を進めて行くことが必要である。

## 4. 秋田市のバリアフリーに関する課題の整理

これまでの調査内容から本市におけるバリアフリーに関する課題を次のとおり整理します。

### ◆課題1:誰もが快適に生活ができるバリアフリー環境整備の推進

- ・本市の高齢化率は今後も上昇していくことが想定されていることに加え、障がい者数も増加傾向にあることから、将来的なバリアフリー化に対するニーズの高まりが予想されます。
- ・また、関係者団体のヒアリング調査からは、これまでの重点整備地区※における整備を中心に、一定の評価を得ているものの、日常生活に必要な施設や道路等の更なる改善に向けた要望も寄せられています。
- ・そのため、鉄道駅等の旅客施設のほか、官公庁施設や商業施設など、高齢者や障がい者等が日常生活で利用する施設が集積する地区等で、移動や施設利用の際の利便性、安全性の向上に向けた一体的なバリアフリー環境整備が必要です。

### ◆課題2:「心のバリアフリー」の推進に向けた対応

- ・関係者団体のヒアリング調査から、市民の高齢者や障がい者に対するマナーの向上について一定の評価を得ているほか、市民アンケート調査から、バリアフリーに関する言葉の認知度の向上や、高齢者や障がい者等が困っている場面に遭遇した際の手助けした人の割合の向上がみられることなどから、これまでの本市の取組における一定の成果がみられます。
- ・一方で、関係者団体や市民に対する調査に共通して、バリアフリーの普及啓発等の充実に向けた取組の継続や充実に係る要望が寄せられています。
- ・それらの要望を踏まえ、市民の誰もが円滑な移動、施設の円滑な利用を実現できるよう、ソフト面での対応として「心のバリアフリー」に係る取組の更なる推進が必要です。

### ◆課題3:市民、事業者、行政等の多様な関係者間における連携の強化

- ・移動や施設利用の際の利便性や安全性の向上に向けたバリアフリーに関するハード整備やソフト面での取組は、実際に施設を利用する市民や関係者等の意見を反映することで、バリアフリーの効果的な推進に繋がります。
- ・また、関係者団体からも、官民間での問題共有を図りたいという要望があったことなどから、ハード・ソフト両面において、多様な関係者間での連携や協働による取組の強化が必要です。

## Topic 車両のバリアフリー化について

### 低床バスとは

地上からバスの床面までの高さが低く、車椅子使用者や足腰の弱い高齢者、小さな子供、妊娠中の女性、ベビーカー使用者など、様々な人々のスムーズな乗り降りに配慮したバスのことです。

その他、滑りにくい床の表面や、立ち席用の手すりを増やすなど、安全性に配慮されたつくりとなっています。



(ワンステップバス乗降口)



(ワンステップバス車内)

写真:「東北地方におけるノンステップバス導入促進について」報告書より  
(平成24年3月国土交通省東北運輸局)

### UD(ユニバーサルデザイン)タクシーとは

車椅子に乗ったまま乗車できるスロープや、乗り降りしやすい乗降口、乗降用の手すりが付いている点などが特徴で、車椅子使用者だけでなく、足腰の弱い高齢者、妊娠中の女性、ベビーカー使用者なども含め、誰もが使いやすくデザインされたタクシーのことです。

